

全共出品素牛選定 第3次集合調査



J A 種子島家畜市場で4月16日、第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）に出品する肥育素牛を選ぶ、第3次集合調査が行われ、種子島地区から6頭、屋久島地区から1頭の肥育素牛が出品されました。

選考牛出品者や全共担当者、全国和牛登録協会、J A 県経済連、行政関係者ら50人が出席。体高、体重、栄養度や資質、今までの生育管理状況を確認し、中種子町の高磯俊二さんの素牛が選ばれました。



した。

当J Aでは、県内のJ Aに比べ、1カ月早い8カ月で子牛を上場しています。

生産農家の経営の回転を高めることが狙いで、通常日数の子牛と比べ、育ちも良いとの声もあります。

J A畜産部大山裕久部長は「種子屋久の特徴がよく出て」と評価された。生産者も生育管理を怠らず、良い素牛に仕上がっている」と話しました。

令和3年度 第1回育成牛払下げ



J A 種子島家畜市場で5月25日、J A管内の和牛繁殖農家に育成牛を払下げ、16頭の繁殖雌牛が取り引きされました。

最高価格は13万1千円（前回比9%減）、平均価格は9万2千8百13円（前回比13%高）となりました。次回の育成牛払下げは、8月12日に行われる予定です。



『家の光』取材 レザー農家密着

7月1日発売予定の「家の光」西日本版2021年8月号で、J A種子屋久花き振興会会長の利川広樹さんが生産する「レザリーフファン」が紹介されます。

利川さんの圃場で5月6日、写真撮影と電話での取材が行われました。

利川さんは「温暖な気候が続く種子島で育てることで、緑の葉が保たれ美しい。生け花で使われるときもレザリーフファンが花の美しさを引きだしている」とPRしました。

「家の光」では、栽培方法や生産へのこだわり、使い方などが掲載されます。



6月の運勢
モナ・カサンドラ



牡羊座
3/21
～ 4/19

【全体運】おおむね順調です。心配事があるなら独りで抱え込まず相談を。良い知恵を出してもらえそう。買い物は後半が吉
【健康運】頑張りすぎは体調不良のもと。適宜休憩を
【幸運を呼ぶ食べ物】サヤインゲン

J A たねやく
2021・6